

WHO ファクトシート

看護と助産

Nursing and midwifery

2018 年 2 月

重要な事実

- ・看護師と助産師は、世界の保健医療従事者の 50% 近くを占めている。
- ・保健医療従事者は世界的に不足しており、特に、現在の保健医療従事者不足の 50% 以上を占めるのが看護師と助産師である。
- ・全ての国が健康と福祉に関する持続可能な開発目標 3 を達成するために、WHO では 2030 年までに世界で 900 万人の看護師と助産師の増員が必要であると推計している。
- ・看護師は、ヘルスプロモーション、疾病予防及び基本的地域的ケアの提供において重要な役割を果たす。看護師は、緊急的な状況でのケアを提供し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現のカギを握るであろう。
- ・看護師と助産師に資金投入することは財政的価値がある。保健医療雇用と経済成長に関する国連ハイレベル委員会の報告書は、保健医療及び社会分野での教育と雇用創出への投資は健康状態の改善、グローバルな保健安全保障及び包括的経済成長の 3 面での効果があると結論づけている。
- ・世界的には、全雇用の 41% が女性であるのに比較して、保健医療や社会活動の労働力の 70% は女性である。看護と助産という職業は女性労働力の主要な部分を占めている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Nursing and midwifery

ファクトシート原文は [こちら](#)